大学生はどのように相手の立場に立っているのか？

— 大多数が同意できない架空の文化における出来事に対する理解 —

○東山薫

(龍谷大学経済学部)

キーワード：心の理論，文化，大学生

How do university students realize other person's point of view?

Kaoru TOYAMA

(Faculty of Economics, Ryukoku University)

Key Words: theory of mind, culture, university students

目 的

心の理論 (theory of mind) とは、「自己および他者の知識、信念、思考、疑念、推論、ふり、好み、目的、意図、の内容を理解すること」、もしくは、「個人が自分自身、もしくは他者に心的状態 (mental states) を帰属させること」と定義されている (Premack & Woodruff, 1978)。すなわち、心の理論を持つということは、自分や他者に心を想定し、人の行動はその心によって制御されているということが理解できることをいう。そして、その理解に基づいて、他者の心を読む能力を持つことを指す。

当然のことながら、同じ出来事を経験しても人によって感じ方が異なることがある。たとえば、甘い物をもらった場合、甘い物が好きな人は喜ぶであろうが、嫌いな人は喜ばないであろう。また、友人が時間に遅れて来た場合、時間は守るべきであるという信念を持っている人は不愉快になるであろうが、そのような信念を持たない人はあまり気にしないかもしれない。このように、自分と異なる他者の心について理解できることを心の理論を持つと言う。

心の理論の有無は、誤信念課題を通過できるか否かで論じられ、メタ分析が行われたことにより、生後 44 か月になれば半数以上の子どもが通過できることが明らかになった (Wellman, Cross, & Watson, 2001)。すなわち、成人であれば

誤信念課題を通過でき、心の理論を持つということになる。しかしながら、成人になれば、自分とは異なる人の立場に立てるのであるのか？本研究では、大多数が同意できない架空の文化における出来事に対して大学生がどのように登場人物の立場に立つのかについて明らかにすることを目的とする。

方 法

調査対象者：4 年生大学の大学生 190 名 (18 歳 9 か月～23 歳 5 か月、女性 72 名、男性 118 名) を対象とした。
調査内容：大多数が同意できない架空の文化における出来事を 2 種類用意した。(1) A さんは「輸血をしてはいけない国」で生まれ育ちました。ある日、自分の子どもが事故にあり、たまたま居合わせた外国のお医者さんに「輸血をすれば助かる」と言われました。しかし、A さんは輸血を拒み、子どもは亡くなってしまいました。(2) B さんは「3 人の女の子は生んでではなく、3 人目の女の子の妊娠がわかったら堕胎しなければいけない」という国で生まれ育ちました。B さんは結婚して 2 人の女の子を出産しました。ある日、3 人目の子どもを妊娠していることがわかり、検査をしてもらうと女の子であることがわかりました。検査をしてくれた外国人のお医者さんに「生むべきだ」と言われましたが、B さんは堕胎しました。それぞれの問いに対して 2 つの質問を用意した。(A) この A/B さんの行動に対してあなたはどう思いますか。(B) あなたが A/B さんだったならばどのような行動をすると思いますか？

分析：それぞれの質問に対して、「登場人物の文化 (立場) に立った回答」に 2 点、「自他の文化 (立場) で葛藤・中立 (どちらでもない)・別の解決策の提示・わからない等の回答」に 1 点、「自分の文化 (立場) に立った回答」に 0 点を与えた。すなわち、(A) の質問では登場人物の文化の立場に立ち、(B) の質問では自分の文化に立った場合 (= 自分の文化と切り離して登場人物の立場に立った場合) に最も得点差が大きくなるように分類した。

結 果

課題の回答のパターンを「A>B」もしくは「A=B」となる 6 パターン、および「A<B」をひとまとめに「その他」とし、全部で 7 パターンの内訳を男女別に表 1 に示した。

表 1 男女別の回答パターンと人数

	1-A	1-B	人数	2-A	2-B	人数
女性	0	0	21	0	0	11
	1	0	11	1	0	1
	1	1	0	1	1	6
	2	0	20	2	0	7
	2	1	7	2	1	9
	2	2	10	2	2	22
	その他 (A<B)		3	その他 (A<B)		16
男性	0	0	47	0	0	20
	1	0	9	1	0	4
	1	1	4	1	1	9
	2	0	22	2	0	17
	2	1	2	2	1	14
	2	2	24	2	2	36
	その他 (A<B)		10	その他 (A<B)		18

表 1 を見ると、(1) の場面に関しては (A) と (B) の得点差が 2 点なのは女性で 20 名 (27.8%)、男性で 22 名 (18.6%)、(2) の場面に関しては女性で 7 名 (9.7%)、男性で 17 名 (14.4%) であった。

考 察

本研究の結果を見ると、大学生であっても自分の立場と登場人物の立場を切り離して考えることは難しいことが確かめられた。また、相手の立場に立った回答をした人が「自分でも同じことをしたと思う」と回答する割合が 13.9%～30.6% おり、一見相手の立場に立っているように見えても、自分の身に置き換えて考えていたことがわかった。

引用文献

- Premack, D., & Woodruff, G. (1978). Does the chimpanzee have a theory of mind? *The Behavioral and Brain Sciences*, **1**, 515-526.
Wellman, H. M., Cross, D., & Watson, J. (2001). Meta-analysis of theory-of-mind development: The truth about false belief. *Child Development*, **72**, 655-684.